

黎的

新年祭号

吳華美

明主様こそ人類待望の「救世主」であられると言う揺ぎない信仰を確立させていただき、明主様の御教えを、主神直接

はならないと思います。私共は、昨年
いたその一点を目標に進ませていただ
りてまいりました。その間には色々な個
々のことで、私の至らぬために信徒の皆
様には御心配をおかけしたこともあっ
たと思いますが、御守護のもとに一步一
歩を着実に歩ませていただきましたこと
を皆様と共に神様に感謝の御祈りを捧
げさせていただきます。と同時に、下さ
りていただきたいと存じます。と下し
誠意あふれる御理解と御協力を心より
した多くの方々、信徒の皆様方に心より
御礼申し上げる次第であります。こ

様よりいただいてまいりました。ど一つの御守護の中にも神様の私共への大愛の感じがこめられていくのをひしひしと感心させていたたくわけでありました。皆様も御承知のように、昨年ほど一般社会に明主様の御教えが現実となつてあらわれてきた年はなかつたのではないかとされています。主神の御目的である理想世界・地上天国建設に必要な物質面の準備も、今はは出来上つた段階に近づくつたものと考へてもよいのではないかといたします。例へば、その根本の一つである「人類思想の統一」(『本書の誕生』)に必要な物質面の条件としての「交通・通信」のこの数年間の発達は見覚しいものがあります。先々た(黎明六号)でも少しと、りあげさせていたゞきましたように、人間生命に最も関係のある医学や農業にあらわれた行詰り、その中の誤りに対する反省を、己に何十年も前から明主様が私共に示して下さつていたことであります。このように重大な問題について、鮮々しく自分勝手な判断をすることは十分つつまなければならぬのは勿論であります。

しかし、本年は、教会にとりましては私共一人一人にとりまして、非常に重大な年も希望にみちた年であることは確信をもつて申し上げられると思います。それだけに、私共のこれらの信仰のあり方、進むべき道を、一歩一歩正しく誤りなきよう進ませていただかなければならないと思ひます。神様の御守護があまり

明主様の御救いについて

(その6)

人間と病氣(二) 会長 多田 光行

こからの教会の具体的なことは、以前にも申し上げたことでありましたが、實に御教義にもとづき、皆様ともお話し合ふの機会を出るだけ多くもならないが、限りなきよう着実に一步一步解決し、進んでまいりたいと存じます。しかし、これら最後の責任が私にあることは勿論であります。

本年は皆様方の心よりの御理解と、御協力により、私共の教会が明主様よりお許しいただきました使命を十分に全うさせていたげますよう、全身全霊をうち込んでまいりたいと存じます。

明主様の御理想達成のため、日夜努力されて居られるすべの方々と手をとりあって明主様への御教えにもっと純粋な信仰の確立を目ざし救い主・明主様の御力と御教えが正しく世の人々にお取次させていただけますよう、一層の精進努力をお願い申し上げます。

(その6)

(二) 会長 多田 光行

言て、ものの本当の真相を見通すことが、非常に困難であることも事実でありました。特に、人間生命の問題*。病得問題* となりますと、湯川博士が指摘されて居りますように、今までの単なる物をつあつかっている時にはそれでよかったことが、もはや許されない深刻な問題になってあらわれてくるわけでありました。原子爆弾の発明によって科学者のあまりに多くの反省がなされましたが、それ以上の本質的な問題に私共は直面して申しては過言ではないと思ひます。

今までの研究・実験では、もし誤れればそれを変更して、より正しい方向へ一步一步近づいていけばよかったわけがあります。しかし、生命* に関する場合は、もはや誤りや失敗がほとと許される場合があるところから、開いによって人間を破滅させるおそれを生じてくるのであります。それも、或正しうと考えられていた考え方*、尤もは結論がある期間を経たのに誤であると分つてゐることがあるところから、刻なしかも根本的な問題がひそんでいわけでありました。そこに、湯川博士

つて居られますように、人間には中々
しいことではありますが、出来るだけ
を見超す智慧、私共の今後進むべき
い方向を見通す智慧、宗教的に言え
の奥にある神様の御心を覚るに預
知恵をいただくことが大切な問題に
てくると思います。明主様より私共
のように御聖示をいただいた居るま
も種々あり、浅い深いもある(中略)
的でなく永遠の樂を望むとすれば、
智慧が働かなくては駄目である。そ
から智慧神祕の強さから湧くので
で、どうしても正しい信仰人ではな
はならないという結論になる。「衆
それから(眞仰)の向上という事は
一番の事は智慧正覺です。分ると云
も間違った分り方ははいけません。言
標準は御神書です。御神書に書いて
も事が大體、なるほど」と思えれば、
智慧正覺が大分上がっているのだと
どうも分らない」といふものもあるし
の時になるほどと思つても、家に帰
忘れるというのもあります。いろん
がフツと分るのは智慧正覺が向上し
るのです。(中略)だから以前は五分
たが、この頃は六つ分、七分分と
うのなら智慧正覺が向上しているの
す(重22・23)「神の啓示」によつて
かれた智慧正覺を磨かせて、私共は
しい御神書を磨かせては、次回に合
で、この点に關しましては、次回に合
し考えさせていただきたいと思いま

御生誕祭を祝う

人類のお正月

御尊影初の公開



万民の罪敵さんと栄光の

[illegible]

明主様の御教に基く神聖なる
の儀等々を妨け、教誨立断し
行はしたるが故て、その目
だされ、いよいよ皇親と、
さうぞろしい年、七年奉迎な
せたい、い、原義の新年祭
が、元日の佳日、花かたに叙
でとられました。

例年、百にわたられ、いま
このお祭りが、こゝ初めて九
に執りなわれ、したる。年

「71へ飛躍」
花やかに新年祭
誓い新たに

[illegible]

もで、まふ公卿でございませう。この佳吉に拝顔を記されました光栄は解のちのち、貴重なる御写真の一枚、一枚ある日の御交をしてみせし、全信者の胸に感激を打たせました。式後、信者の末になる御殿後、御神酒ををいたさき、別に喜びしにまふ公卿でございませう。

'71へ飛躍

花やかに新年祭
誓い新たに

and the β parameter is the inverse of the variance of the error term.

まず最初であるという観念が、
として自然のこと形になっている。大々
な運動が起つたものである。
この日暮は祭典後、お正月、
御神酒をい、ただかなが、神様へ
真心からの感謝を込め、盛りだ
くさん御酒を奉じました。明王様
の御教をまぐくする尊い使命を
に、こと一年を捧げる決意を現
え立つた使、一日を過す、ま
した。

全信徒の力を結集しよう

新春を迎えて 田中 睦康

使命の達成を誓う

だことがききよう、御努力
申します。御外になしと思
います。

たぬい先生が全力を傾
け急がれたるの用は、
一日も早く明確の御教を全
世に出すにやります。しかし
に十分徹底してゐないためか、

まだ甚だしい状態であると申さ
ねばならぬ。そこでやがて
と今年中には、大部分の力が
若くは、秋金運動、つてい
だるべきに、つてゆき、
と念願するものであります。

洗師今明主の予言れた

教会におきへば、御教を全
世に広められ、御教を全
世におられす現在、之と並
行して資金を常に積み立て
てゆかなければ、この努力は大
成しません。

吾々は常に明主様からこの

藥369種、飲むべからず

再び薬毒について
米国食医局が指定

社会リーダー

[illegible]

実験に人命を供してはいけ
いふことだと言います。

ない。また、驚き信の結果、説明のようはありと

述べた如く、薬劑な
物である以上、体内

なるものは有毒に残留して病

「再び薬毒について」

米国食医局が指定

「わい、それはいちも得ないし、こたえに付きます。いいかれば、科学は進歩が見えない、そして、科学は「男が不肖」なる所収」がきき、英和辞書で通っている。驚く

解決される事となつたので、有難い時が来た訳である(中略)」「右の如く、人類は古い時代に起つており、それがなぜ起つておらず、それがなぜ起つたのであるか、現代に到つたのであるか、今目に薬劑を体内に入れた、今目に

薬369種、飲むべからず

本報記者がたづねたところから、日本ではどの程度の数にのぼるか見当もつかぬくらいだ。市販されている二万種類のうち約半が落着くのではない。か。国や製薬業界は、このイギリス・アメリカの検査結果を参考に、其時代の人達

動の代表として、演説をなさる。その上、主として「世界の災厄を」として、画期的な出来事だと思ふ。（中略）彼の科学的な検査を以て固執し、重んじて、いるアメリカで、四目顔近くも

「東洋に於ては彼の神祕氏が、誰かに深淵又は悪魔を服属す」と、一時的苦痛が緩和されるの

三橋はうき目効果があつて証明されたのはわずか一九・一%に過ぎないのだからです。

このことがつて同紙、高橋記者と「あやめ」編集長との対談で、

「人間の罪が過剰に懺悔され、それが心を介して體の動かし方となり、六分社会リーダーたる彼の浄化が顕著である」となり、

「その結果として、西宮市では、

